



ふるさと教育 実践事例

津和野町立 青原小学校

2025年7月31日

吉田小学校 久保田知乃

R6年度 青原小5・6年生

発表の流れ

- ①青原小学校のこと
- ②年間を通しての実践
- ③最後に

発表の流れ

- ▶①青原小学校のこと
- ②年間を通しての実践
- ③最後に

津和野町立青原小学校



津和野町立青原小学校

R6年度 全校32名

1年生 2年生 3・4年生

5・6年生 つばさ どんぐり



12名



5年生4人
6年生8人



○学校教育目標

「ふるさとを愛し、主体的にたくましく生きる子どもの育成」

○期待する子ども像・研究主題

まなぶ子

自分の考えをもち、豊かに表現できる子ども

- 楽しく学ぶ子
- 基礎学力のある子
→課題解決する力

たかめあう子

自他の良さに気づき、認め合い高め合い子ども

- 人権感覚を身につけ、自己肯定感情が高くもてる子
- 合意形成力のある子
→対話する力

きたえる子

めあてをもち、継続的に心身を鍛える子ども

- 自己コントロールができる子
- 運動に親しみ、体を動かす子
→挑戦する力

地域と共に生きる子ども

- 地域の人とかかわる子
- 地域のひと・もの・ことに親しむ子
→かかわる力

研究主題

対話的に学び合い 考えを広げる授業づくり

～聴こう・考えよう・伝えよう～

発表の流れ

①青原小学校のこと

▶②年間を通しての実践

③最後に

春休み中（4月初旬） 1年間の計画を立てる

活動あ  学びなし

つきたい力の
明確化

子どもたちは
何と云うかな

年間指導計画は？
教科書は？



春休み中（4月初旬） 1年間の計画を立てる

★担任が1年間を通しての大きなテーマ決め

★担任が1年間の学習の流れ決め

これをして
何の意味が？

このために
学習・活動する！

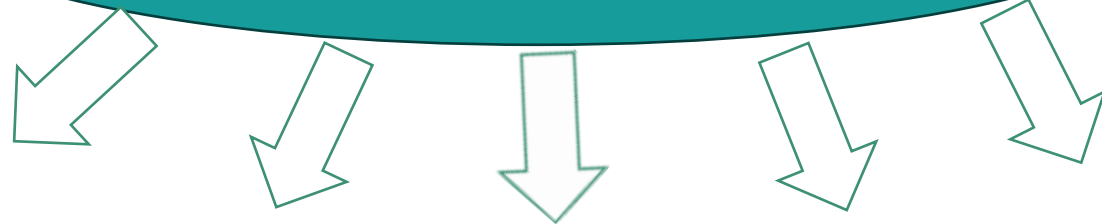
目的を
もって
学ぶ



春休み中（4月初旬） 1年間の計画を立てる



1年間の大きいテーマ
「町づくり学習」



各教科・領域の資質・能力

単元と単元の
横のつながり

教科横断的な学習

春休み中（4月初旬） 1年間の計画を立てる

★学年（成長）に応じた活動を意識



「しまねのふるさと教育」リーフレットより

4月 ここだけの話…

★公民館長さんと相談

学校

- ・こんな活動がしたいと言います
- ・こんなことをお願いできますか

- ・公民館でこんな活動を考えています
- ・あの人を紹介しましょう

地域

1年間の計画

月	
5月	青原の過去と現在、魅力、課題を知る
	自分たちにできることを考える
6月・7月	子どもたちが考えた実践①
11月	学習発表会で学びを発表
1月・2月	子どもたちが考えた実践②
	子ども議会で学びを発表
2月下旬	これからの自分について考える
	→ 6年生：卒業文集 5年生：まとめの作文

現状理解

実践計画

実践

実践発表
まとめ

これからの自分

4月

★児童自身が今年度何を学びたいか考える

★PPDACサイクルについて知る

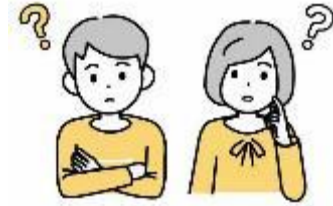


- ・青原を盛り上げる活動がしたい！
- ・青原を盛り上げるために神楽がやりたい
- ・卒業した6年生がやっていたみたいに地域の魅力を伝える活動がしたい
- ・青原はお店が少ないからお店が開きたい

などなど…

5月

地域の魅力と課題って？



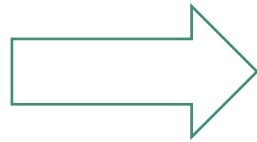
地域の課題

生の声

顔が見える



思いに触れる



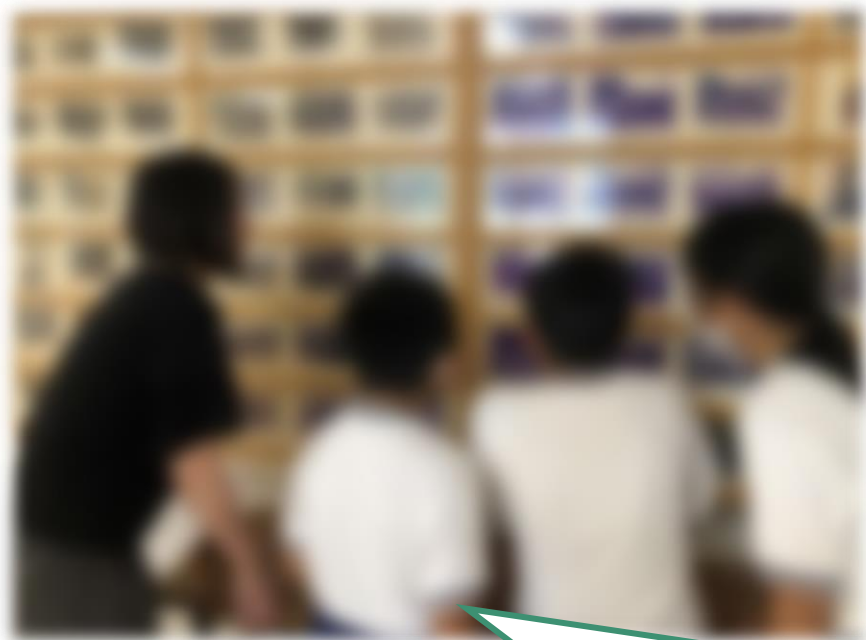
心が動く
「自分たちにも
何かできないか」



5月

★地域の魅力と課題を知る、考える

★地域の方の思いを知る



歴代の卒業写真を見ても子どもが減っていることが分かりました。

5月

★町づくり学習と家庭科を結び付けて



地域の方にふるまう蓬莱糖作りとお茶の準備。ただお茶を入れるより相手の顔が思い浮かぶ方が意欲的ですし、力もつきます♪地域のヘルスメイトさんと一緒に行いました。

5月

- ★「青原まちづくり委員会」との対話
- ★「青原未来基金」について知る。
- ★大人も試行錯誤しながら、町全体で協力して町づくりをしていると知る。

5月

過去と現在の比較
魅力と課題を明確化

危機感

地域の方々の思い
地域の大人の努力

貢献意欲

年間を通しての
活動の原動力

6月

★5月の学びを活かして改めて…

地域のために自分たちにできることを考える



神楽

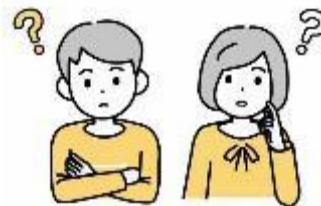


子ども商店

6月

「まずどうする？」
「何から始める？」

地域のため
に考える



地域のため
に行動する

学校でも
子どもたちが
自分たちで
考え行動

担任の手を離れ
地域に出たとき



6月下旬・7月

★子ども商店の準備、開店、振り返り

★神楽の練習開始

(発表の2月まで月1回程度、講師の方に教えていただく)

6月下旬・7月

★子ども商店準備

- ・商品はどうするん？お金は？
- ・作って売る？
- ・まずは館長さんに相談してみよう。
- ・子ども商店の宣伝をするといい。（ポスターや地域の回覧板、ページング放送）
- ・宣伝係と商品やお金のことを考える係に分かれようや。



地域の方が
応援して
くださっている！
頑張ろう！！



7月

★商品の金額決め

算数と
生活を
繋げる

売上を
未来基金
に！

地域に
貢献している



7月

★子ども商店 開店!



7月

★子ども商店 ふりかえり



- ・こんなにたくさんの方が来てくれると思っていたから嬉しかった。
- ・地域の方におすすめの商品を聞かれたり話したりできて良かった。
- ・手話を使って接客することができた。
- ・「またやってね。」と言ってもらえて嬉しかった。
- ・地域の方がみんな嬉しそうな顔をして帰ってくれて、やって良かったと思った。

次につながる振り返り

価値づけ

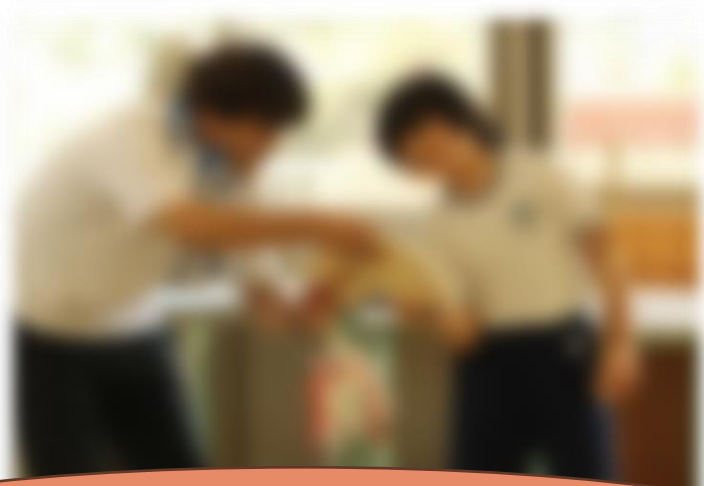
次の実践への
意欲アップ



6月下旬・7月

★神楽の練習開始

(発表の2月まで月1回程度、講師の方に教えていただく)



伝統を大切にする

子どもを全力で
応援する大人

ロールモデル

9月・10月

★青原の魅力を伝えるパンフレット作り

→そのために地域の方にインタビュー



目的をもって
国語の資質・能力を育む



前回のインタビューが
繋がる



地域の方の
声を聞こうとする子どもたち

9月・10月

★青原の魅力を伝えるパンフレットを空港に持っていきました。

更に目的をもって学習できるように、完成したらどうするかまで考えてほしいな



パンフレットは完成したらどうする？
せっかく作るもんね…

校外学習で行く
空港に置いてもらおう！



子ども商店後の振り返りで
次の活動を計画

11月

- ★みんなの心の収穫祭（学習発表会）で学んだことを発表
- ★公民館祭りのバザーを中学生と一緒にお手伝い



11月

★みんなの心の収穫祭（学習発表会）で学んだことを発表



町づくりは他の町のいい所をもらうんじゃないんだよ！
地域みんなで何十年、何百年かけて作っていくんだよ！
長い時間をかけて、みんなで協力して今の青原があるんだ。

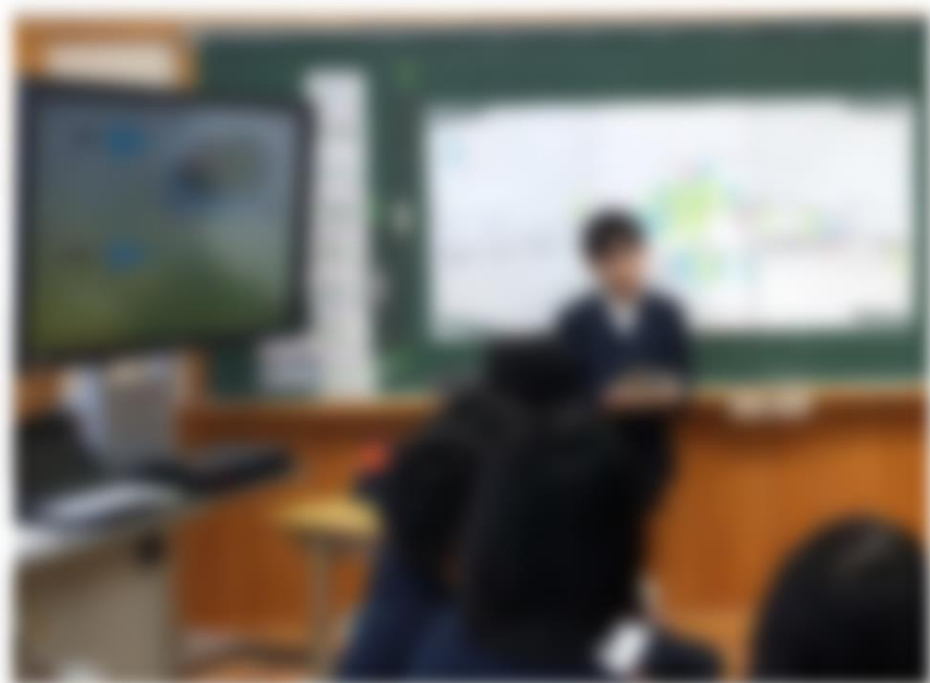
12月・1月・2月

情報収集

★「議員さんとの学習会」に向けて準備

情報を選択・集約

★「議員さんとの学習会」で1年間の学びを発表



2月

★神楽の発表





愛着・誇り

貢献意欲

実行力



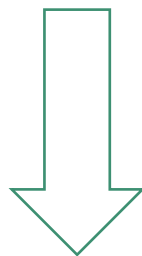
確かな学力



2月・3月

★人生を語る会

★卒業文集（6年生）、1年間まとめの作文（5年生）



地域に住む

これからの自分を見つめる

2月・3月

★人生を語る会



こんな子どもだった
こんな風に生きてきた。
大切にしていることは…



コロナが流行っているころには、地域の人と心が離れているんじゃないか、このままでいいのかなと思っていました。

町づくり学習をして、地域の人との交流がものすごく増え、地域を盛り上げることもしました。

学校ではない他の場所や遠い所にも行き、色々な授業のおかげで、地域とのかかわりが深まり、みんな優しく家族のように思えてきました。

地域を盛り上げることもでき、最高の気持ちになりました。ぼくは「色々できて良かった」と思いました。

来年は、小学校最後の1年です。来年も積極的に地域とのかかわりを深めていきたいと思います。

発表の流れ

①青原小学校のこと

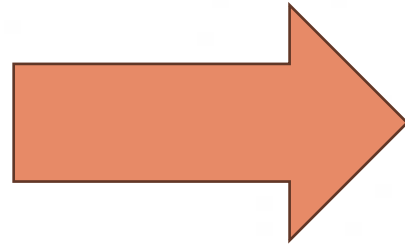
②年間を通しての実践

▶③最後に

最後に

ふるさと教育

子どもにするもの…



子どもたちと一緒に私自身が
ふるさと教育を受けた



ご清聴ありがとうございました